

なかよし通信

ともに笑い、ともに育つ

なかよしは、ひとつの大きな家族のように・・・

2023年3月号 (No.99)

特定非営利活動法人
なかよしねっと
(代表 安孫子 陽子)

〒351-0035
朝霞市朝志ヶ丘1-2・6-108
TEL/FAX 048-476-6386

☒ (アンダーバー 2本)
nakayoshi_ _club@hotmail.com

HP & Facebook
<http://nakayoshinet.jimdo.com/>
<https://www.facebook.com/npo.nakayoshi.net/>

もくじ

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1頁 ... とびつくす | 4頁 ... 子育て支援センター |
| 2頁 ... NPO法人 なかよしねっと | おもちゃ図書館 なかよしぱあく |
| 3頁 ... 障害児放課後児童クラブ なかよし | 5頁 ... 生活介護事業所 なかよしかふえ |
| | 6頁 ... でんごんばん |

身に沁みる寒さより春らしさが増してきましたね。
花粉症の方には辛い季節でもありますが、春が近くなっているのを感じられると、気持ちも前向きになります。
段々とマスクを外す機会も増えてきそうですので、皆さん笑顔の練習をしておきましょう (*^o^*)

NPO 法人
なかよしねっと

誰もが自分らしく地域で生きることが
できる社会になるように

このなかよしねっと通信で、放課後クラブの活動の様子をお伝えするのは、今回で最後となりました。約30年間の活動に、3月末日をもって幕を下ろします。

当時保護者が手探りで始めた活動を、朝霞市が独自に支えてくださり、そして県の施策をも変えました。法人格を取得し、その後新たな事業と共に朝霞市の委託事業となり、なかよしねっとの核として、それぞれの事業を引っ張ってきました。

「子どもたちと、保護者も職員も共に育ち合う場」「ひとりひとりが主役になれる場」

もうじき迎える最後の1日まで、そうありたいと願います。

障害のある子どもたちの居場所としての放課後デイサービスをはじめ、福祉サービスは充実してきましたが、それでもまだまだそこから溢れてしまう子どもたちは沢山います。

必要なものは何か、私たちに出来ることは何か。

思考を止めずにいたいと思います。

子育て支援センターなかよしぱあくは、市内で唯一無二の子育て支援センターとして、

生活介護事業所なかよしかふえは、それぞれが描く「ステキな自分」を見つけられる場を目指し、

これからも沢山の方々と繋がりながら過ごしていきたいと思います。

これまで朝霞市障害児放課後児童クラブなかよしを応援していただきましたこと、心から感謝申し上げます。

代表 安孫子 陽子

朝霞市
障害児放課後児童クラブ
なかよし

障がいを持つ子どもたちが、放課後や長期休暇中も
仲間と一緒に楽しく豊かな生活を送れる場

子どもたちの放課後ってどんなだろう。小学生だったら、ランドセルを置いて友だちと約束した公園へ。駆け回ったり、サッカーしたり、ときにはゲーム？親の目がないところでいたずらをしたり、ちょっと遠くまで探検したり。

中学生、高校生は部活かな。趣味を見つけて、仲間と、ときには一人で、楽しい時間を過ごしているかもしれないね。こういうことに選択肢が少ないから「障害がある」ってことになる。

でも、誰でも、頑張ってきた学校がおわったあとの放課後は、自由で、心が緩む時間でありたい。学校であったできごとを話したり、察してくれる相手がいてほしい。学校がない長期休暇はちょっとわくわくする体験もしてみたい。家とは違う安心できる場所で、自分の「やりたい」を見つけたい。

訓練でもパッケージされたサービスでもない、居場所。それが障害児学童でした。



冬休みは恒例の柳瀬川遠足



柳瀬川のおやつは、いつものたいやき



←自分から料理の本を選んで食べたいものをリクエスト。実際にウサギのかたちの稲荷ずしをつくりました。



↑ひさしぶりにプラレール

非言語コミュニケーションのプロの高3生と、言葉でのやりとりが大好きな小3生。年齢も体格も好きなことも違うけど、そんな凸凹な二人がいっしょにいる空間には、のびのびとした楽しい時間がながれていました。4月からはそれぞれの道へ。最後の日まで、たくさん笑いましょう♪



↓ウクレレ、体験中



朝霞市子育て支援センター
おもちゃ図書館
なかよしぱあく

『親育ち』『子育て』を応援
心の根っこを育てる『卒業のない』支援センター

2013年10月に障害児放課後児童クラブを併設した子育て支援センターとして市の委託を受けてから、10年近くの年月が経ちました。

【障害があってもなくても安心して過ごせる子育て支援センター】【親育ち子育ての場】として運営してきましたが、続けていくうちに、立ち上げ前には予想できなかったこと、見えていなかったことが、次々と現れてきました。

それは『児童発達支援事業所、放課後デイサービス事業所の増加』『働く母の増加』『コロナ禍』など、時代の流れや子育てを取り巻く状況が変化することによって見えてきたことが多く、そのたびに『なかよしぱあくとしてどう考えていくか』を職員間で話し合ってきました。日々親子さんと向き合う中で、『やりたいこと』『必要なこと』はたくさん出てきます。現実には、地域課題やニーズが見えているのに予算的にも人員的にも『できないこと』の方が多いです。

でも、見て見ぬふりはしない。

できることを精一杯やる、そうやって今まで親子さんに向き合ってきました。

他の子と比べて『アレができないコレができない』『なんか違う』と言っていた頃から、自分自身の中で我が子の成長を見るオンリーワンの物差しができて、我が子の成長を喜ぶようになったママたちを見ると胸が熱くなります。

大変だった時期を少しだけ過ぎたママが、小さい子を連れたママに「大丈夫、うちもそうだったから」という眼差しをむけてくれたり、言葉をかけてくれているのを見ると、誰でも助けてもらう側から助ける側になっていけるのだと感じます。

『障害の前に一人の子どもです。困った子どもではなく困っている子ども。手がかからない子どもほど、見えない課題を持っている。』

20年近く前、障害児学童の指導員と保護者による実践交流会に保護者として初めて参加したときに講師の先生がおっしゃった言葉に衝撃を受けました。

12年間参加し、学んだことはたくさんあります。

困っている子と不安な思いをしている保護者に寄り添いたい。

そしてお母さんたちに自信をつけさせたい。

そしてこの先も、『やりたいこと』『必要なこと』が一つでも実現できるように、ママたちに背中を押されながらともにこの先のなかよしぱあくを作っていけたらと思っています。

施設長 住田

Facebook に活動の様子が載っています。

<http://nakayoshinet.jimdo.com>

ご利用の予約、ご相談などはお電話でお気軽に♪ ☎ 048-474-7316 (なかよしぱあく直通)

生活介護事業所 なかよしかふえ



卒業後の障がい者の働く場
社会参加の場



年明け初日は、天候に恵まれた一日でした。
新たな年になりこの先何が待っているのか、利用者さん達にわかりやすく伝えていきたいです。
何かと消極的になる寒さは、できない理由を探し勝ちですが、できる方法を考える力が一気に出てくる春は、確実に近づいています。



畑の玉ねぎ・
ほうれん草も
春を迎えます



三年振りの市民活動祭り
に参加しました



好きなことに集中する時間です



タコ焼き・おやつ作り
食べる事は活力となります

お疲れ様でした！

障害児放課後児童クラブなかよしの閉所により、長きにわたって担って来たお皿洗いの任務を終えます。

自信を持ってできる事、
また探して行きたいです。



今年度もたくさんの方々にご支援いただきありがとうございます。
今後も皆様の温かい応援にお応えできるよう活動してまいります。

2022年度 賛助会費・寄付をいただいた皆様

板花光子様・栄敏夫様・細川洋行様・津司洋様・山口壽美雄様
梅村夏美様・白石真理子様・安孫子和久様・柱山歩様・八代昌子様
小川佳代子様・辻哲也様・小川貴美代様・木下静香様・神谷雅子様
小系勝也様・本田技研労働組合様・イオン新座店様
おもちゃの図書館全国連絡会様

(以上順不同、2023.2月末現在)



なかよしねっとの活動を応援してください

なかよしねっとでは 賛助会員を常時募集しております。

賛助会費：年額一口千円（二口以上でお願いします）

賛助会員として会報にお名前を記載させていただきたいと思えます。

下記口座にお振り込みいただく場合は、

1. 御芳名・御住所・お電話番号
2. 会報へのお名前の記載が不可の場合はその旨を

なかよしまで電話または FAX、e-mail にてお知らせください。

* 武蔵野銀行 志木支店 普通預金 1012607

または

* ゆうちょ銀行 記号 10320 番号 13031751

特定非営利活動法人 なかよしねっと 理事 安孫子陽子

TEL/FAX 048-476-6386

✉ nakayoshi_ _club@hotmail.com

(アンダーバーは2本入ります)

